

令和7年9月19日

富士見市議会議長 勝 山 祥 様

議会運営委員会委員長 今 成 優 太

所管事務調査（行政視察）報告書

本委員会は、所管事務調査として先進地の視察を行い、調査を終了したので富士見市議会会議規則第109条の規定により報告します。

記

- 1 実施期間 令和7年8月19日（火）
- 2 視察地及び調査事項 埼玉県春日部市
庁舎整備に関わる議会エリアの諸室配置及び面積等について
- 3 出席委員
委員長 今 成 優 太 副委員長 小 泉 陽
委員 村 元 寛 委員 宮 尾 玲
委員 斉 藤 隆 浩 委員 深 瀬 優 子
議長 勝 山 祥 副議長 佐 野 正 幸
- 4 随行職員
議会事務局局長 森 園 幸 則
議会事務局次長 野 本 和 宏
議会事務局主査 水 口 知 詩
議会事務局主任 浪 江 薫
- 5 同行職員 総務部長 古 屋 勝 敏

（調査結果報告は、別紙とする。）

(別紙)

6-1 埼玉県春日部市

「庁舎整備に関わる議会エリアの諸室配置及び面積等について」

＜市の概要＞

(面積・人口・予算・地域性・歴史・将来目標等簡明に)

総面積：66km²

人口：228,993人(令和7年8月1日現在)

一般会計当初予算：42,507,050千円(令和7年度)

財政力指数：0.71(令和5年度)

(1) 調査事項の概要・経過・特徴等について

平成24年度	庁舎に関する庁内検討委員会を設置
平成25年度	市役所本庁舎耐震化有識者会議の開催
平成26年度	本庁舎耐震化に関する市民アンケート実施
平成26年度	本庁舎整備審議会の設置
平成27年度	市役所移転建て替えに関する市民アンケート実施
平成27年度	春日部市本庁舎整備基本構想を策定
平成29年度	春日部市新庁舎整備基本計画を策定
令和3年度	実施設計最終案
令和3年度	新本庁舎建設工事請負契約を締結
令和3年度	新本新庁舎工事開始
令和5年度	新本庁舎竣工
令和6年度	新本庁舎開庁

建設概要

建築面積 約3,956m²

延床面積 約14,771m²(庁舎)

議会機能エリア面積 約1,555m²

(議場・傍聴席・傍聴ロビー・委員会室・正副議長室・議員応接室・議員控室
6室・相談室2室・議会事務局・図書室・その他)

- 春日部市役所の新庁舎は、市民サービス向上と行政の効率化を目的として建設された。議会エリアの構成は上記のとおりである。
- 外周を廊下で囲むスタイルなので、議会エリア全体が明るく解放感を感じる設計となっている。
- 傍聴ロビーを中心に絨毯を市の花藤色に、天井は敢えて一部を塞がずに藤棚を模したあつらえとなっている。
- 委員会室は3室プラス大型の全員協議会室が設置されている。
- 議会エリアと市長公室が同階にあるが、エレベーターからの動線に、前室や中庭を設置する事で違和感の無い分離がされている。

- セキュリティについては、議会エリアに入る為に議会事務局前を通過する必要があるが、図書室などへの出入りに制限は無い。
- セキュリティカードについては、WAONカードを活用してセキュリティカードとして使用している。議員控室などが設置してあるエリアや市長公室エリアに入るためにはこのWAONカードが必要である。
- 4階部分の約1/3は市長公室エリアだが、議会エリアとはセキュリティラインにより完全分離がされている。
- ユニバーサルデザインを採用し、バリアフリー化がされている。
- トイレに関しては2カ所利用が出来、オストメイトが設置された多目的トイレも整備されている。

（２）具体的対応策・取組状況について

- 議会をもっと身近なものに（議会機能）。というコンセプトの基、議場と傍聴席が近い。
- 議場の採光については春日部市の特産品である桐箱が開くイメージで工夫がされており閉塞感を感じないように工夫がされている。
- 議場へのスロープや車イス席、親子席の設置、聴覚障がい者対応のヒアリンググループの設置などをして誰でも議会に参加しやすい配慮がされている。
- 議場採決にボタン式を採用したことにより、モニター画面で明確に可否が分かる。
- 議場内のマイクや映像などの操作は、オペレータ室にて行う。1名若しくは採決時などには2名で対応している。
- 空調は天井が高いために床面に吹き出し口を設置して効率化をはかっている。
- 議員控室は全室窓側に設置されており、白が基調の内装と相まって明るい印象となっている。
- 議員控室の壁は可動式ではあるが、移動するには工事が必要となる。

（３）効果・課題・問題・反省点について

- 議会エリアと市長公室エリアが同階にあるが、セキュリティに関しては特に問題となっていないとのことであった。但し、春日部市の庁舎は、正方形に近い形状なので、直線で明確に分離出来ている点は、富士見市で提案されているアールの付く形状とは違う点であり、厳格な動線管理などを考える必要がある。
- 議場の設計において、限られたスペースではあるが、バリアフリー化や議場と傍聴席の距離や設備の充実などは、特に注力する必要があると考える。
- 春日部市の庁舎は、余裕のある造りであるとの印象を受けた。富士見市の庁舎案と規模感が違うので比較が難しいが、議会エリアもサイズが小さい分効率化を優先することは必要だが、余白を作るなど市民の快適さを確保する必要がある。
- 議場について、今のところ運営上問題にはなっていないとのことであったが、議長席からは斜め後方となる説明員席がある。

- 窓側を確保出来ない諸室はトップライトを多用するなど明るさの創出が必須になると考える。
- 委員会室にインターネット配信用の機器が整備されているが、稼働するのは先になるとのことであった。
- 富士見市の委員会室新設についてもインターネット中継用の機器の整備や配線の設置、コンセントの確保等、後から工事が必要となる部分については、将来的な経費削減のために先を見越しての設置をする必要性を感じた。
- コンパクトにする分、音の問題も十分な対策が必要と考える。
- 議員図書室は資料作成室と併用となっていた。富士見市での議員図書室の在り方も設計するにあたり検討する必要があると考える。
- 春日部市の議員によると、新庁舎を使用してみて議会エリア全体について特に問題は無いとのことだったので、議会との調整の成果を感じられた。

（４）まとめ（指摘事項、本市における具体的活用方策、提案等）

- 今回の視察を通じて、執行部の視点、事務局の視点、議員の視点など様々な立場からより良い議会エリアを目指していくことは勿論、最優先すべきは市民の利便性や快適性などであり、最大のツールの一つとして、改めて「開かれた議会」の推進をしていくことの必要性を感じた。
- 春日部市の取組みを参考とさせていただいて、議会運営委員会としてもしっかりと取り組んでいきたい。